

きずな通信 No.27



2018年1月1日
発行 みやぎ地域づくり交流会
事務局 宮城公民館内

地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

恒例の

第10回

いいもん祭り

盛大に開催される



子供たちの歓声が絶えませんでした

秋の長雨が続いた10月が過ぎ、11月に入りいいもん祭りを待っていたかのような好天のもと、第10回いいもん祭りが盛大に開催されました。
今回で節目の10回を迎えることができたのも、皆様のご支援ご協力のおかげだと思えます。第1回は地元産の野菜なども多く販売しましたが、農村地区での野菜販売はなかなかうまくいかず、地元の『いいもの』を何か紹介できないかと試行錯誤してきました。今回、三夜沢あずきゲームとして地元野菜を紹介したり、加工食品を販売したり、地元の匠の手作り木製列車を走らせたりしました。今後は、より一層盛大に、そして地元色を出したローカルで楽しい祭りとして開催できるように考えて行きたいと思っています。
(上野記)

平成29年11月5日

於：宮城公民館



焼き芋は俺たちに任せろ!!
焼き芋機も新しくなり本格石焼き芋が味わえました。



これいいわね!!
バザーコーナーで
売上が過去最高でした



♪木製列車は
ランランラン
行くよ〜♪
オリジナル手作
り列車です



私の方が多いいわよ、(^。^)/
三夜沢あずきゲーム



毎年恒例のいいもん汁・綿菓子・ポップコーン今年から有料になりましたが好評でした。

第1回から協力いただいている
地元の若葉高等学校



祭りが終わり、お疲れモード
今年も多くの中学生ボランティアが協力してくれました



◇ みやぎ地域づくり交流会も協力 ◇

「阿久沢家住宅で若者たちが集う!!」

12月16日に若者会議イベント、古民家キャンプin阿久沢家を開催致しました。絶好の天気に恵まれ、釣り@大崎釣り堀古民家寝相アート、みやぎの食材BQ、若者落語、星空観測会、いろいろ会議、早朝ヨガなどのプログラムが行われ、特にBQやいろいろ会議では、豚、牛肉、野菜、蕎麦、卵かけごはんといったみやぎ地区の食材を使った企画になりました。みやぎ地域づくりメンバーも若者会議メンバーさんとなりがりを持って、とても楽しいイベントとなりました。今回のイベントで阿久沢家住宅を盛り上げたいと感じるとともに、彼らの次のイベントを受け入れられる、解決できる



会、地域でありたいと感じました。(大崎博之 記)

ピザづくりで

地域づくり



地域づくり交流会共催の食育講座が12月23日、食生活改善推進委員と前橋市地域おこし協力隊の皆さんを講師に公民館で行われました。

みやぎ産食材を使用したのピザとポトフを作る楽しいクッキングタイムを親子で楽しみました。(上野 記)



ピザ『ミヤギリータ』完成です

福祉交流部から

ピンシャンで明るく元気な

みやぎにこにこ

ピンシャンクラブ発足

宮城地区介護予防サポーター事業では昨年9月から「ピンシャン元気体操教室」を開設しています。

会場

鼻毛石町集落センター
(旧保健センター)

日時

毎月二回(第一・三火曜日)
午前10時～12時

対象…全町対象・無料

宮城地区のよもやま話 ③

大宇赤城山 1

宮城小の校歌に「七つの字から集まって」という歌詞があるが、かつての宮城村の名寄帳は七大字のほかに「赤城山」という簿冊があった。また「大宇赤城山」という別冊の公図もあったが、名はあるが実態は5大字に振り分けられているという不可解な大宇だった。

調べてみたが明治5年に小大区制が布かれた際も、明治22年4月、現七町で宮城村が構成された時にも「赤城山」という大宇はなかった。それは赤城山麓の広大な原

※「立ち上がる」「上に手を伸ばす」「歩く」など普段の生活での動作を安全に楽におこなうことを目的とした前橋市オリジナル介護予防体操です。是非お気軽にお越しください。(阿久澤 記)



野は、近隣住民が採草採薪などの入会権を持ち、どの自治体にも属しない御料地だったからである。そして、明治22年の市町村合併後、入会権を持つ各地域に追加編入したのが問題の大宇赤城山である。

桐生市新里町、前橋市富士見町及び渋川市赤城町には赤城山の地名は現存するが、当時、旧宮城村には、なぜ地名のみで実態のない大宇赤城山があったのか検証したので次回に記したい。

(委員 五百部 記)

